

平成 30 年度 施策評価表

施策	1306	水産業の振興	施策担当部等	産業振興部	部長	高取 和也
			施策担当課等	農林水産振興課	課長	下玉利 輝幸
施策の方針	養殖や種苗放流などにより漁業経営基盤の強化に取り組むとともに、漁場環境の改善や漁港施設の整備に努める。					

【DO（実施）】
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H29年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 年間漁獲高	百万円	143	145 161	145 167	146	147	150	115.2%	111.3%
② 年間漁獲量	t	154	156 156	157 164	158	159	160	104.5%	102.5%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

①年間漁獲高は、稚ナマコの放流や漁場の保全活動等の効果もあり、青ナマコやシャコ、ウニ等の漁獲量が増加したことにより、前年度から6百万円増加し目標値を上回る状況となった。特に、青ナマコは17百万円増の38百万円、シャコが18百万円増の31百万円、うにが4百万円増の31百万円となった。

②年間漁獲量は、青ナマコやシャコ、ウニ等の漁獲量が増加したことにより、前年度から8トン増加し目標値を上回る状況となった。特に、青ナマコは1.4 t 増の26.1 t、シャコは1.5 t 増の37.9 t、うにが0.2 t 増の2.0 t となった。

施策経費

(単位:千円)		H29年度 決算	H30年度 予算	H31年度 見込	特記事項
内訳	事業費	150,390	47,914	175,509	
	国庫支出金	59,222	10,171	45,343	
	県支出金	310	1,037	984	
	地方債	0	0	0	
	その他	2,157	2,162	3,680	
	一般財源	88,701	34,544	125,502	
	人件費	17,738	24,091	-	
フルコスト	168,128	72,005	-		

施策の概要

130601	漁業経営基盤の強化	漁具資材の高騰や漁獲量の減少、魚価の低迷などによる漁業経営の厳しい状況を改善するため、カキなど大村湾に適した魚介類の養殖の拡大や、水産加工品の開発を促進するとともに、水産物蓄養施設の整備を行います。 また、近年、ナマコ等の漁獲量が減少していることから、水産資源の確保を図るため、種苗放流を促進します。
130602	漁場環境・漁港施設の整備	ヘドロや海底ゴミ、アオサなどによる水質や漁場環境の悪化を改善するため、海底耕うんや浮遊堆積物の除去等を行います。 また、漁港漁場整備長期計画に基づき、漁港や漁場の整備に努めます。
130603	漁業の担い手の育成	次世代を担う漁業者を育成するため、漁業に触れ合う機会を創出し、漁業への関心を高めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>漁業経営基盤の強化については、ナマコやガザミ等の種苗放流に対する補助を行ったほか、カキの養殖環境の整備やナマコ漁の円滑な操業に向けた取組に対して補助を行った。また、首都圏やふるさと納税返礼品への活用のほか、市内の飲食店による消費拡大等を行い、魚価の向上や販路拡大を実施した。これらについては、今後も継続して取り組む必要がある。</p> <p>漁場環境・漁港施設の整備については、漁場環境の保全策として、平成30年度から実施しているイカの産卵場所づくり事業の中で漁場環境の調査を行うこととしている。また、水産多面的機能発揮対策事業を活用した浮遊物の撤去や海底耕うん、稚貝等の沈着促進等を継続して進めていく必要がある。さらに、漁礁の整備など、効果的な漁場造成が必要となっている。</p> <p>漁業の担い手の育成については、平成30年度に「漁業者確保推進協議会」を設立し、漁業者育成と就業支援を行うこととしている。この取組のほか、漁業の担い手を育成していくためには、漁業就業者の発掘に取り組む必要がある。</p>
-------------------------	---

【CHECK (評価) 評価調整委員会】

<p>(今年度は評価調整委員会による評価の対象外)</p>	
-------------------------------	--

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>漁業経営基盤の強化については、市内漁協が取り組む青ナマコやガザミ等の種苗放流に対する補助を継続して実施するとともに、牡蠣養殖やホタテの中間育成等についても、必要に応じて支援していく。</p> <p>また、大村湾イカの島づくり事業を実施し、イカを大村湾の新たな特産品として位置づけ、青ナマコや牡蠣等とともに、ふるさと納税返礼品への活用を図るほか、市内の飲食店で活用の消費拡大を市内漁協と共同して実施する。</p> <p>特に、青ナマコについては東京の市場へ出荷し、大村で採れた青ナマコの価値を高める取組を市内漁協とともに進めながら、魚価の向上を目指す。</p> <p>漁場環境の整備については、漁場環境の調査結果を踏まえながら、効果的な漁礁の整備を行う。また、水産多面的機能発揮対策事業による浮遊物の撤去や海底耕うん、稚貝等の沈着促進等の取組に対し、継続して支援していく。</p> <p>漁場施設の整備については、平成31年度において、大村市漁業協同組合に対する漁船引揚施設の更新や大村市漁業協同組合松原支部の荷捌所移転等に対し補助を行い、効果的な漁場施設の造成を図る。また、漁港施設の長寿命化や防波堤新設等の調査及び整備計画を策定する。</p> <p>漁業の担い手の育成については、漁業就業実践研修受講者に対する補助を行うほか、平成30年度に設立した大村市新たな漁業者確保推進協議会や県等と連携し漁業の担い手を育成する。</p>
---	---

平成31年度新規事業

事業名 (仮称)	担当課	H31年度見込	対象・事業概要など
		事業費 (千円)	
1 東浦・松原漁港海岸長寿命化計画策定事業	農林水産整備課	14,413	市で管理している漁港施設の長寿命化を目的とした整備計画策定。
2 松原漁港施設整備計画策定事業	農林水産整備課	5,500	松原漁港における防波堤の新設(陸傾斜堤L=30m)に伴う整備計画策定。
3			
4			
5			
		19,913	